

2011 ミニ・ディスクロージャー

# 見てわかる“しんきん”



新庄信用金庫ステンドグラス「北の春」は、当金庫の本店新築時に郷土出身の洋画家、近岡善次郎画伯の原画・監修によって制作されたものです。

「北国に春が来て、遠山にまだ雪が残っているのに梅、桃、桜が同時に咲き出し、少し遅れてサクランボの緑がかった白い花が咲く、それが雪のやっとな消えたかげろうのたなびく野を埋める。働く人も春の野に出ることは喜びである。春風を胸いっぱい吸って、本当に生きている喜びを味わう。この気持ちの良さは、東北生まれの私にとって最高の喜びとして一生忘れず思い続けることだろう。」



## 基本方針

- 郷土の繁栄に心から奉仕する
- 内容の堅実な金庫にする
- 和顔愛語に満ちた  
明らかな風を創る
- 待遇の優れた金庫にする



## ごあいさつ

皆様には、平素より私ども信用金庫をお引立ていただきまして、誠にありがとうございます。

この「2011年度版 ミニ・ディスクロージャー誌」は当金庫第92期（平成22年度）の決算の状況と事業の概況をご報告するとともに、当金庫の内容等をわかりやすくご説明申し上げるために作成いたしました。ぜひ、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

平成22年度のわが国経済は、リーマンショック後の世界金融危機からの緩やかな回復過程にありましたが、夏以降の急激な円高の進行や世界経済全体の減速懸念などによりアフレ経済の進行に歯止めがかからず、景気は足踏み・踊り場状態が続きました。

こうした中、年度末を控えた3月11日に国難とも言うべき東日本大震災が発生、原発事故も併発し、被災地域の経済生活基盤に壊滅的な被害をもたらしただけでなく、被災地の生産の落ち込みとそれに伴う基幹部品等の供給制約などを背景に経済活動は大幅に低下し、日本経済全体に影響が及んでおります。

一方、地区内景況においては、取引先の多くを占める小規模企業が、低迷する地域経済の中、売上不振などから引き続き大変厳しい状況にあります。また大震災の影響による二次被害の兆候が見られ、今後廃業に追い込まれるところも出てくることも予想されます。金融面では、中小企業金融円滑化法が昨年暮れに平成24年3月まで延長され、地域経済や中小・零細企業の支援における地域金融機関の役割など、信用金庫に対する期待はこれまでも増して大きくなっております。

以上のように厳しい経営環境ではありましたが、今期の業績は次のとおりとなりました。

預金については増徴運動が功を奏し、期末残高が前期比5.89%増の59,696百万円、平均残高が前期比2.52%増の58,691百万円と、共に大幅に増加しました。一方、貸出金は景気減速に伴う資金需要低迷の影響等により、期末残高が前期比4.09%減の38,188百万円となっております。また、一般企業の売上高に相当する経常収益は有価証券運用収益の増加により、前期比2.4百万円増の1,873百万円となり、コア業務純益ベースで412百万円、当期純利益で124百万円の計上となりました。

尚、自己資本比率については、前期より0.22ポイント上昇し、10.78%となりました。

当地域では今後とも厳しい経済環境が続くものと予想されますが、地元になくはない信用金庫でありつづける為、「お客様との共生、地域との共生」を旗印に、信頼に値する健全性と強じんな経営基盤の確立を図りながら、個人・法人にかかわらず取引先の増加に努め、地元で集めた預金は地元への貸出で還元するという金融の地産地消を進め、地元経済の活性化につなげたいと考えております。今後とも、皆様の一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年8月

理事長 井上 洋一郎

## Q1 決算の状況について

A

おかげさまで22年度決算では、412百万円のコア業務純益（本業での利益）、および124百万円の当期純利益を計上することができました。

### ●資産内容の健全化を第一に考えました。

地域経済において、中小企業は中央との格差拡大が続いており、金融機関は全般的に、貸出金を中心とした効率的な資金運用が難しく、収益環境は厳しさを増しております。

平成23年3月末の業務は、**預金残高596億円（前年比5.8%増）、貸出金残高381億円（前年比4.0%減）**となりました。

収益面では、資産内容の一層の健全化に向け、貸出金の償却8百万円、貸倒引当金の繰入247百万円を実施したことで、**経常利益91百万円、当期純利益124百万円**、本業での利益を示す**コア業務純益は412百万円**となりました。

(百万円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	第90期	第91期	第92期
出資総額	208	208	200
業務純益	△670	458	331
コア業務純益	258	458	412
経常利益	△926	230	91
当期純利益	△953	187	124

### 〈しんきん〉のコストパフォーマンス

当金庫のオーバーヘッドレシオ（OHR）は、20年度は82.2%、21年度は89.1%、22年度は72.8%となっております。経営合理化・効率化の指標としてよく使われるOHRは、「**コア業務純益をあげるためにどれくらいの経費を使ったか？**」を比率で示したものです。つまり、当金庫は100円の粗利益をあげるために使う経費が、82円→89円→72円と推移しております。22年度に比率が上昇したのは、貸出金利収入の減少や退職給付費用の増加等によるものであり、今後、ムダのないスリムな経営を目指してまいります。

## 預金・貸出金の推移

### ●預金残高の推移

(億円)

	平成19年 3月末	平成20年 3月末	平成21年 3月末	平成22年 3月末	平成23年 3月末
個人預金	464	481	482	485	512
法人預金	79	74	81	78	84
合計	543	556	564	563	596

個人預金・法人預金が共に増加し、期末残高596億円、前期比3.3億円増となりました。

### ●貸出金・代理貸付残高の推移

(億円)

	平成19年 3月末	平成20年 3月末	平成21年 3月末	平成22年 3月末	平成23年 3月末
貸出金残高	401	396	401	398	381
代理貸付残高	38	36	29	20	23
合計	440	432	431	425	405

貸出金残高については資金需要低迷の影響により、期末残高が前期比1.8億円減となりました。



## Q2 自己資本比率について

**A** 10.78%と10%台の水準を維持。「健全で問題のない金融機関」の国内基準を大きく上回る水準となっています。

### ●新BIS規制について

従来、自己資本比率は、自己資本の総額を分子とし、貸出金等の資産総額を分母として計算されてきましたが、近年の金融技術の進展等により、金融機関の抱えているリスクも一段と多様化・複雑化していることから、新BIS規制が導入されました。新BIS規制では、自己資本比率を算出する際分母において信用リスク・アセットに加え、「オペレーショナル・リスク相当額を8%で割って得た額」を計上しております。オペレーショナル・リスクとは、システム障害や不祥事、事務ミス等によって被るリスクのことです。その相当額の計算に当たっては「基礎的手法」を当金庫で採用し、1年間の粗利益に15%を乗じた額の直近3年間の平均値を用いております。また、信用リスク・アセットの計算に当たっては「標準的手法」を採用しております。ここでは、従来よりも精緻化された資産項目の所定のリスク・ウェイト（損失が発生する危険度に応じた掛け目）を用いて、より厳かく算出しております。

### ●自己資本比率は金融機関の安全性を示す判断指標のひとつです。

自己資本比率は金融機関の安全性・健全性を示す指標のひとつで、資産に対する自己資本（出資金・利益準備金・積立金など）の割合、つまり「いざというときの備えの水準」を表しています。信用金庫のように国内のみで営業活動を行う金融機関については4%あれば経営体質が健全であると判断されています。

### ●自己資本比率は10.78%と10%台を維持。「健全で問題のない金融機関」の国内基準を大きく上回る水準です。

当金庫は経営の健全性向上のために、自己資本の充実を重点課題のひとつとして、毎年の収益の中から、安定した内部留保の蓄積を行ってまいりました。22年度は資産内容の層の健全化を図るため、償却・引当処理を行い、自己資本比率は10.78%と国内基準である4%を大きく上回り、健全性を保持しております。

## Q3 不良債権の状況について

**A** 従来にも増して厳格にルールを守り、適正な処理を行っています。

### ●積極的な不良債権処理を行っています。

金融機関は、企業の運転資金や設備資金、また個人のお客向けに各種のローンなどを取り扱っていますが、融資先が不幸にも経営不振になったり倒産したりすると、貸出金の回収ができなくなる場合があります。そうなる可能性の高い貸出金を不良債権といいます。

金融機関は、経営の健全性を高めるために、資産の健全度を自己査定によって評価し、それに基づき不良債権の適正な償却や引当をすることが義務付けられております。

当金庫は資産の健全化を経営の最重要課題と位置づけ、厳格な自己査定基準に基づき適正な償却・引当を行うなど、不良債権の層を固めております。

## 23年3月期の状況

(百万円)		(百万円)	
リスク管理債権	金額	金融再生法開示債権	金額
・破綻先債権	1,223	・破産更正債権及びこれらに準ずる債権	2,082
・延滞債権	1,575	・危険債権	720
・3ヵ月以上延滞債権	—	・要管理債権	962
・貸出条件緩和債権	962	・正常債権	35,241
合計	3,761	合計	39,007

## 金融再生法に基づく不良債権とその保全状況

### ●金融再生法上の不良債権計 3,765百万円

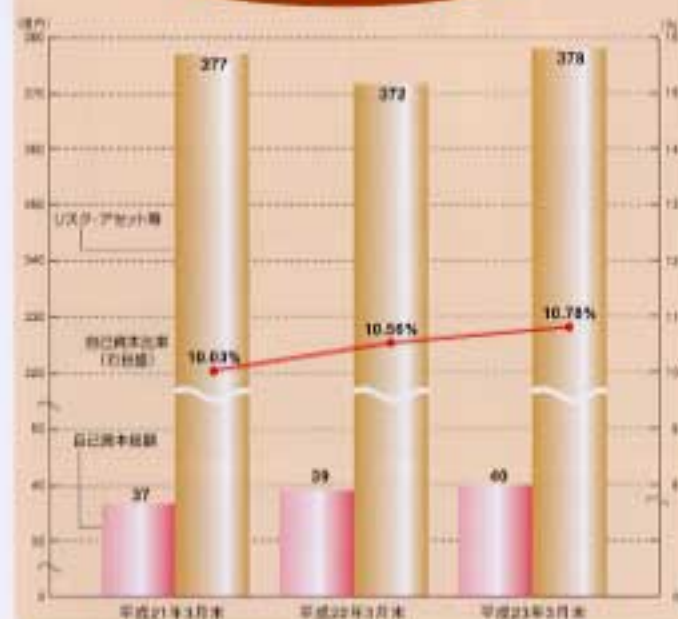


保全額計 3,320百万円



保全率 88.16% (3,320 ÷ 3,765 × 100 = 88.16%)

## 自己資本比率の推移



### 経営健全性の指標「自己資本比率（新BIS規制）」は

自己資本比率 =  $\frac{\text{自己資本総額}}{\text{信用リスク・アセット} + \text{オペレーショナル・リスク相当額を8\%で割って得た額}} \times 100 (\%)$

**10.78%** 国内基準4%の **2.6倍** 高い安全性を確保しています。



中小零細企業に携わる万々や、個人のお客様の円滑な金融を担うことが地域金融機関である信用金庫の最も大切な役割ですから、経済状況によっては、ある程度の不良債権の発生はやむを得ないと考えております。

上のグラフにあるとおり、不良債権合計37億円のうち33億円は貸倒引当金（17億円）および担保・優良保証等（16億円）により保全されております。



## Q4 投資信託について

**A** 長引く超低金利と将来受取る年金や退職金に対する不安。このような時代にあってもお金を貯めるだけでなく、**殖やす**ことも大切です。今まで**殖やす**ことに興味がなかった方も確定利付きの預貯金に加え、将来に向けて中長期的な運用に適している投資信託を利用して、バランスのとれた資産作りを考えてみませんか。

- 若いあなたには、将来に備えた資産作りの工夫が大切。
- 働き盛りのあなたには、資産を効率的に殖やす工夫が大切。
- 第2の人生を考えているあなたには、資産をより安全に管理していく工夫が大切。

## Q5 キャッシュカード被害について

**A** 最近キャッシュカードの偽造・盗難により預金引き出される被害が増えておりますので、お客様におかれましては次の点にご注意ください。

- 暗証番号は、他人に知られないよう、十分注意してください。とくに、暗証番号を記載したメモや暗証番号を推測される手出しとなるものは、キャッシュカードと一緒に保管しないでください。
- 生年月日、ご自宅の電話番号、自動車ナンバーなど、他人から推測しやすい番号を暗証番号とすることは避けてください。
- 暗証番号は定期的に変更することをお奨めいたします。当金庫のA T M（現金自動入金機）で変更が可能です。
- 当金庫以外の金融機関のキャッシュカードを利用される場合には、当金庫のキャッシュカードの暗証番号と同じ暗証番号を利用しないことをお奨めいたします。また、キャッシュカードの暗証番号を貴重品ボックスなど他のサービスを利用する際の暗証番号として使うことは避けてください。
- A T M（現金自動入金機）などを利用されるときは、暗証番号を後ろから盗み見られたりしないようご注意ください。
- 当店舗職員などが訪問や電話などでキャッシュカードの暗証番号をお尋ねすることはありません。不審な点がある場合には、ただちにお取り引きしている店舗にご相談ください。

## Q6 業界全体の健全性について

**A** 信用金庫の中央機関として運用資産約30兆円の「信金中央金庫（信金中金）」がバックアップしています。また独自のセーフティー・ネットにより、業界全体の健全性の向上にも努力しています。

- 健全性を維持するために、他の業界には見られない信用金庫独自の安全網を作り上げています。

金融機関の破綻を未然に防止する手立てとして、金融当局による「早期是正措置」がありますが、信用金庫業界では、これに加えて独自の安全網を用意しています。それは、「信金中金」が個々の信用金庫の財務内容を毎月こまかくチェックし、問題がある場合には改善のための指導や、支援を行う「信用金庫経営力強化制度」です。金融庁の早期是正措置の発動を待たずに、自主的に経営内容を改善するために、業界独自の仕組みを作り上げているのです。

もっと知ってほしい、その実力。  
**信用金庫と信金中金。**

※信用金庫中央金庫数は2011年3月末現在のものです。  
※信金中金中央金庫数は2011年3月末現在のものです。



信用金庫と信金中金は、手を携えて地域経済の繁栄に貢献しています。

### 地域経済のパートナー 【信用金庫】

- 豊富な預金量  
..... 約119兆円
- 巨大なネットワーク  
全国271金庫、7,584店舗
- Face to Faceの事業展開  
..... 役員員数11万5千人
- 多数の出資者  
..... 931万人

### 信用金庫のセントラルバンク 【信金中金】

- 運用資産  
..... 約30兆円
- 高い自己資本比率(単体)  
..... 31.78%
- 低い不良債権比率  
..... 0.36%
- 高い格付  
..... AA (格付機関JCR)

## トピックス 当金庫野球部の活動「第56回東北地区信用金庫野球大会準備勝」

平成22年6月12日(土)、新庄市にて山形県信用金庫野球大会が開催され、新庄信用金庫が6年ぶりの優勝を果たしました。この野球大会は、昭和29年より続く歴史ある大会です。

その後、山形県代表として東北大会（第56回東北地区信用金庫野球大会 平成22年7月24日(土)・25日(日)白石市開催）へ進み、準備勝に輝きました。



## 新庄信用金庫

※より詳しい内容は各営業所に信用金庫法に基づくディスクロージャー部「新庄信用金庫の概況」を備えていますので、ご覧ください。  
ホームページ <http://www.shinjosk.co.jp/>